

# 令和元年度 第1回 学校関係者評価委員会

兼 信頼される学校づくりのための委員会



令和元年6月13日(木)

14:50~16:30

鹿児島県立枕崎高等学校

# 目 次

- P 1 [第 1 回学校関係者評価委員会 兼 信頼される学校づくりのための委員会開催要項](#)
- P 2 [枕崎高等学校 学校関係者評価委員会設置要項](#)
- P 3 [学校経営の概要](#)
- P 4 [取り組みの指針](#)
- P 5 [\(図解\) 枕高のめざす方向](#)
- P 6 [本校の概要](#)
- P 7 [令和元年度 各部重点目標](#)
- |     |                   |
|-----|-------------------|
| 4 部 | (教務部 進路指導部 生徒指導部) |
| 学年部 | (1 年部 2 年部 3 年部)  |
- P10 [生徒会係より - 文化祭準備の進捗状況とお知らせ -](#)
- P11 [平成30年度 第 3 回学校関係者評価委員会 兼 信頼される学校づくりのための委員会  
ま と め](#)
- P13 [令和元年度 学校評価アンケート, 集計結果 \(保護者用 / 年度初め\)](#)
- P14 [学校評価の年間計画 \(案\)](#)

## 第1回学校関係者評価委員会 兼 信頼される学校づくりのための委員会開催要項

1 日時 令和元年6月13日(木) 14:50~16:30

2 会場 総合学館2階, C24教室

### 3 会順

- (1) 校長あいさつ 14:50~14:55  
(2) 委員委嘱 14:55~15:00  
(3) 学校概況説明 15:00~15:10  
(4) 各部概況説明 15:10~15:25  
【説明順】 教務部 生徒指導部 進路指導部 保健部 1学年 2学年 3学年  
(5) 

休	憩
---	---

 15:25~15:35  
(6) 生徒会係より,文化祭について 15:35~15:40  
(7) 平成30年度 第3回学校関係者委員会報告 15:40~15:45  
(8) 令和元年度学校評価(保護者用)説明 15:45~15:50  
(9) 学校評価の年間計画(案) 15:50~15:55  
(10) 意見交換 15:55~16:30

### 4 出席者

- (1) 学校関係者評価委員 平成30年度の継続

野田真由美 委員	地域代表 (一般)
立石健太郎 委員	地域代表 (一般)
石塚宏志 委員	中学校代表 (枕崎中学校 校長)
町頭與志郎 委員	同窓会代表 (同窓会会長)
福元幸介 委員	PTA代表 (PTA会長)

### (2) 教職員

校長 橋口和寛  
教頭 松野下修司  
事務長 宿里澄彦  
教務主任 池田年孝(理科)  
生徒指導主任 上野宏之(保健体育)  
進路指導主任 前原功治(国語)  
保健主任 長山さつき(養護教諭)  
1学年主任 石川正史(芸術)  
2学年主任 谷口智子(数学)  
3学年主任 前原功治(国語)  
生徒会係 鶴田多真美(社会)  
教務部学校評価係 竹之内賢光(英語), 中島史人(数学)

第2回委員会は11月13日(水)に開催する予定です。 [目次へ](#)

## 枕崎高等学校 学校関係者評価委員会設置要項

### 1 学校関係者評価委員会の目的

本校の学校経営等について、保護者や地域住民等の多様な意見を幅広く求め、その意向を的確に把握し、学校評価の充実を図るとともに、これを学校運営に反映させることにより、開かれた学校づくりや特色ある教育活動を推進する。また、信頼される学校づくりのための委員会を兼ね、本校職員の意識高揚を図る。

### 2 学校関係者評価委員会の活動内容

- (1) 本校の運営方針や教育活動への提言及び教職員への助言
- (2) 教育活動全般に関する学校、家庭、地域との連携についての提言及び意見交換
- (3) 年度途中及び年度末にとりまとめられる学校の自己評価に対する評価

### 3 学校関係者評価委員会の構成等

#### (1) 評価委員の選任

校長が、教育に関する理解と優れた見識を持つ者を人選し、委嘱する。また、評価委員を学校評議員として設置者である県教育委員会に推薦する。

#### (2) 評価委員の数

評価委員の数は5名とし、本校職員以外の次の中から人選する。

保護者代表	同窓会代表
地域住民代表（男性）	地域住民代表（女性）
中学校代表	

#### (3) 評価委員の任期

評価委員の任期は、委嘱された日から当該年度の3月末までとする。再任は妨げない。また、欠員が生じたときは、補充することができる。

### 4 学校関係者評価委員会の運営

- (1) 本校内に事務局を置き、本校が主体的に運営する。
- (2) 本評価委員会は、保護者や地域の有識者が学校運営に対する提言や意見交換を行うことにより学校の活性化を支援する機関であって、学校や設置者の権限を制限してはならない。
- (3) 本評価委員会には、議題に関係する校務を担当する本校職員を説明者として出席させることができる。
- (4) 本評価委員会の会議録は、開示請求があった場合は、原則公開する。

### 5 学校関係者評価委員会の開催

校長は、原則として年3回、本評価委員会を招集して開催するとともに、必要に応じて意見を求めることができる。

### 6 評価委員の義務

評価委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。また、その職を退いた後も同様とする。

### 7 謝金等

評価委員会に対する謝金は、旅費等も含めて2,000円程度とする。

(附則) この要項は、平成20年6月16日より施行する。 [目次へ](#)

# 学校経営の概要

## (1) 教育目標

憲法並びに教育基本法に則り、生徒一人一人の個性・能力・進路に応じた指導と総合学科としての特色を生かした教育を推進し、平和的国家及び社会の有為な形成者として、人権意識を持った人間性豊かな生徒を育成する。

## (2) 学校経営方針

総合学科の特性を生かし、生徒の知・徳・体の調和のとれた人間形成を図り「地域の活性化に貢献する人材の育成」をめざす。また、公教育の使命を自覚した教職員組織として、常に指導方法等の研鑽に努め、保護者・地域・社会の負託に応える。

生徒の豊かな人間性と社会性を育成する  
生徒の学力向上と進路志望の実現を図る  
地域に根ざし郷土の期待と信頼に応える  
職員研修の充実と指導力向上に取り組む

## (3) 本年度の努力点

総合学科の教育活動の充実

- ア 総合学科におけるキャリア教育の推進
- イ 総合学科の理解に向けた広報活動の推進

学力向上と進路指導の充実

- ア 基礎・基本の徹底と学習習慣の定着指導
- イ 進路の実現に向け時宜に応じた適切な進路指導

生徒指導・生徒理解の推進

- ア 服装・容儀指導の徹底とあいさつの励行
- イ 教育相談の積極的実践と心の教育の充実

開かれた学校づくりの推進

- ア P T A・同窓会・地域・小中学校との密接な交流
- イ 学校評価等を反映した教育活動の改善

## (4) 本年度の研究主題

年間指導計画に基づいた基礎・基本講座の推進  
基本的な生活習慣を確立させる指導法の研究  
進路に応じた選択科目や帯群表の検討及び次期教育課程の研究  
A O・推薦入試を活用した進路実現方策の研究

# 取 り 組 み の 指 針

## 1 特色ある学校づくりの推進

### (1) 総合学科の教育活動の充実

総合学科活動内容および帯群表・選択科目の研究の推進  
「産業社会と人間」や「創意」を通じた生き方学習と進路指導の推進  
地域との連携を深め、地域の人材や先輩を活用した教育活動の推進  
総合学科の理解に向けた広報活動の推進

### (2) 就職・進学指導の徹底

進路情報の収集と発信（「進路だより」、「学級だより」等の活用）  
AO・推薦入試への積極的な挑戦  
検定・資格取得率の向上

### (3) 生徒会活動の充実

学校行事への積極的な取り組み  
委員会活動の活発化  
部活動の活性化  
ボランティア活動の推進

## 2 学力向上と進路指導の充実

- |                                  |               |          |
|----------------------------------|---------------|----------|
| (1) 分かる授業の工夫・改善                  | シラバスの活用       | 教材の研究と精選 |
| (2) 授業への姿勢                       | 授業開始・終了時の服装指導 | 語先後礼     |
| (3) 宅習時間の確保                      | 小テストの実施       | 宿題及び事後指導 |
| (4) 放課後補習と朝補習の計画的取り組みによる基礎・基本の徹底 |               |          |
| (5) 個別指導と添削指導の充実（3年生）            |               |          |

## 3 生徒指導・生徒理解の推進

- |                           |                    |           |    |
|---------------------------|--------------------|-----------|----|
| (1) 基本的な生活習慣の確立           | あいさつ               | 服装容儀      | 清掃 |
| (2) 「見落とさず 見放さず 見届ける」生徒指導 |                    |           |    |
| (3) 交通マナーの確立              | 交通教室の実施            | 時宜を得た交通指導 |    |
| (4) 教育相談の積極的実践と心の教育の充実    |                    |           |    |
|                           | 不登校生徒・悩みを抱えた生徒への支援 | 道徳教育の充実   |    |

## 4 地域・家庭との連携の推進

- |                           |                       |  |  |
|---------------------------|-----------------------|--|--|
| (1) P T A 活動の緊密化，活性化      |                       |  |  |
| (2) 中高連携の強化               | 出前授業                  |  |  |
|                           | 公開授業への積極的な参加          |  |  |
| (3) 広報活動の推進               | 中学校訪問及び保護者・地域への説明会の開催 |  |  |
|                           | H P や広報紙の充実と活用        |  |  |
| (4) 地域行事・ボランティア活動への積極的な参加 |                       |  |  |

## 5 保健・安全指導の推進

- |                               |                |               |  |
|-------------------------------|----------------|---------------|--|
| (1) 健康についての自己理解と保持推進の意識を高めさせる |                |               |  |
|                               | 諸検診・検査の事後指導の徹底 | 生徒保健委員会の活動の推進 |  |
| (2) 環境美化への取り組み                | 清掃指導の徹底        | 生徒美化委員会の活動の推進 |  |
| (3) 安全指導の徹底                   | 施設設備の定期点検      | 防災・避難訓練の充実    |  |
| (4) 性教育・薬物乱用防止への積極的取り組み       |                |               |  |
| (5) 職員の健康の保持・増進               |                |               |  |

# 枕高のめざす方向

地域の活性化に貢献する人材の育成

おもに地元の  
大学・短大へ

おもに地元の  
専門学校へ

おもに地元の  
企業・公務員へ

地域貢献  
活動

1. 基礎・基本の徹底
  2. わかる授業の展開
  3. 生徒とのコミュニケーション
  4. 生徒の学校満足度向上
  5. 部活動の活性化
- 7限目の活用，朝補習の工夫  
アクティブラーニング 他  
教育相談の充実  
自己肯定感・主体性の涵養  
入部率の向上  
公務員合格者の増加，国公立大学合格者の増加

部活動の活躍

地域行事への  
参加

ボランティア

地域スポーツ

枕高塾

中高部活動交流

地域の職場体験

2・3年次の  
地域課題研究  
の職（役場や商工会）

人文科学系列  
自然科学系列

普通科と同等

ユニークな選択科目

スポーツ健康系科目  
保育・家庭系科目  
演奏研究，中国の書  
英語理解，中国語  
手話，心理 など

ビジネス  
情報系列

商業科と同等

2・3年次，進路に必要な科目を選択  
+  
キャリア学習学習「創意」「卒業研究」

1年次，科目「産業社会と人間」で，人間の生き方や  
あり方，社会のしくみなどを学習（キャリア学習）

# 本校の概要

## 1 本校の特徴

- (1) 本校は、鹿児島県枕崎実科高等女学校として大正14年(1925年)に創立され、全日・定時制、普商併設等幾度かの学科変遷を経て、4年前には創立90周年を迎えた伝統校である。  
平成10年度、県下公立高校初の総合学科を設置、この3月に第19期生69人を送り出し、今春22年目を迎えた。地域の熱い期待と支援を受け、職員・生徒が一丸となり、地域に密着した新しい特色ある学校づくりに取り組んでいる。
- (2) 生徒は明朗闊達で元気よく挨拶をし、伸びやかに学校生活を過ごしている。また、部活動では体育系、文化系とも各種大会等で活躍し、ボランティア活動も盛んである。
- (3) 平成30年度の卒業生は、上級学校進学者が77%(うち大学・短大等25%)、就職内定率96%と、生徒の多様な進路希望実現に向け様々な対策が立てられ、効果を上げている。

## 2 職員の状況

- (1) 職員数 総員27人(教員24人、事務職員3人)
- (2) 年齢構成 60代1人、50代9人、40代11人、30代5人、20代1人(平均45.1歳)
- (3) 非常勤 計11人(数、理、保体、芸2、家2、商2、外国語、手話)
- (4) その他 図書補1人、校務補助2人、進路1人、ALT1人

## 3 生徒の状況

- (1) 生徒数 1学年42人、2学年46人、3学年57人、総計145人(男子67人、女子78人)
- (2) 部活動

【体育系11】野球部(九州地区高校野球大会県予選ベスト8)卓球部(南薩地区大会個人3位)

【文化系7】書道部(南薩地区揮毫大会優勝)(県高校書道展準大賞)

美術部(県高校美術展、洋画の部入選)

- (3) 進路状況(平成30年度卒)

大 学	短大・大 学 校	専 門(医 療)	専 門(一 般)	就 職	そ の 他	合 計
9人(13%)	11人(12%)	5人(22%)	15人(30%)	26人(22%)	3人(4%)	69名

### 【大学・短大進学状況】

九州産業大(2名)、久留米大(1名)、福岡工業大(2名)、鹿児島国際大(3名)、鹿児島女子短大(6名)、鹿児島純心女子短大(1名)など、私立大9名、私立短大10名など合計19名。(国公立大0名)

### 【就職状況】

陸上自衛隊自衛官候補生、鹿児島銀行(株)、日本郵便九州支社、南国殖産など合計26名。

## 4 課題と今後の対応

### 【課題】

- (1) 総合学科として22年目を迎えるが、地域の要望・生徒の進路実現に向けて、系列の在り方、系列選択・科目選択の指導方法、センター試験・AO入試・推薦入試への対応など、検討・改善が必要である。
- (2) 少子化が進み、かつ他市の公立・私学への流出もあり、80人定員を充足できていない。
- (3) 教師集団は若くやる気も十分である。教科指導、進路指導や教育相談等の指導力向上のため、研究授業等多くの研修の機会を設ける必要がある。

### 【対応】

- (1) 総合学科のさらなる発展・魅力ある学校づくりに向けた教育課程や進路に直結する系列の見直しを図り、中学校・地域への広報活動を充実する。(特進クラスの設置、ビジネスクラス設置による資格取得の強化)
- (2) 1年生の「産業社会と人間」、職場体験等を活用した進路目標の早期確立を目指す。
- (3) 地域に根ざし、郷土の期待と信頼に応えるために、中学校との教科研修・部活動交流、地域行事への参加、地域ボランティア活動等を充実する。(公開授業の参観、枕崎高校カップ川辺地区中学校女子バレー大会開催、地元祭ボランティア)
- (4) 生徒指導、部活動指導等を通じた基本的な生活習慣の確立及びいじめ、交通違反・事故等の根絶を目指し、不登校生の支援を充実する。また、そのための研修会を開催する。



## 令和元年度 各部重点目標

### 4 部

教 務 部	
重点目標	<p>令和2年度以降の教育課程において不十分な部分を改善すると共に、生徒の進路実現に対応しつつも、学校の実情に応じた生徒の科目選択（帯群表）のあり方の改善・変更を進めていく。</p> <p>開かれた学校作りとして、保護者および地域住民への広報活動に取り組むと共に、中学校との連携をより深めていく。</p> <p>「産業社会と人間」や「総合的な学習の時間・探求の時間（創意・卒業研究）」の充実を図り、課題の発見および解決における生徒の思考力や判断力、表現力等を育成・定着させ、社会人としての基本的な素養を身につけさせる。</p>
昨年度の課題（設定の理由）	<p>現状を考慮し、教育課程について議論していく必要がある。より魅力的で、かつ現状に適した教育課程の編成および帯群表の検討・改善をおこなっていく。</p> <p>地域に根ざした学校づくりを心がけることで、入学希望者の人数を増やし学校活性化につなげていく。</p> <p>「産業社会と人間」や「総合的な学習の時間・探求の時間（創意・卒業研究）」の充実を図り、生徒の人間力向上を目指す。</p>

生 徒 指 導 部	
重点目標	<p>社会生活をおくるための基本的な素地を育成し、生徒が主体的に学業や部活動に励み、落ち着いた校風を確立する。</p> <p>教育相談体制を充実させる。</p> <p>交通マナーの向上、事故・違反の減少を目指す。</p>
昨年度の課題（設定の理由）	<p>あいさつや服装は大半の生徒はきちんとできているが、一部の生徒は制服を正しく着こなせていない。「ネクタイ・リボン忘れのチェック」など対策を講じるとともに、制服の意味や身だしなみの大切さを生徒に理解させていきたい。</p> <p>生徒一人一人に対して全職員が関わるような体制作りを確立していきたい。</p> <p>単車免許取得から時間が経過し、運転に慣れてきた生徒の違反が見られた。日々の安全指導を徹底していきたい。</p>

進 路 指 導 部	
重点目標	<p>進路目標を持たせ、学習する習慣を身に付けさせる。</p> <p>多様な進路、幅広い学力層に対応すべく補習を充実させる。</p> <p>職業観の育成と就職指導の強化。</p>
昨年度の課題（設定の理由）	<p>ここ数年は自宅学習の少なさが話題に上ることが多い。自宅学習の推進のため各教科で課題の出し方を工夫するとともに、進路指導としても進路ガイダンスや各種講演会などを通して学習の必要性を感じさせる機会をさらに設けていきたい。</p> <p>生徒の進路希望、入試形態など多様化している。職員も研究を深めるとともに補習の内容も検討していく必要がある。また、次年度からの入試制度の変更点も確認していきたい。</p> <p>ここ数年の求人票は増加しほぼ希望通りの就職ができている。しかし、早期の離職もあり、働くということの意味を考えさせることが必要である。内定を得るだけでなく、責任ある社会人となるようなことを引き続き指導していきたい。</p>

保 健 部	
重点目標	<p>適切な保健室利用の定着と、心身の健康を保持増進させる。</p> <p>不適応生徒への対応と対策の充実。</p> <p>安全点検の定期的な実施と避難訓練の充実。</p> <p>清掃活動等をとおして、勤労意欲を育てる。</p>
昨年度の課題 (設定の理由)	<p>保健室利用のルールを守らせ、安易な保健室利用を防ぐ。日頃から心身の健康保持や体力向上に努めるよう対策を講じたい。</p> <p>不登校傾向の生徒は減少傾向だが、支援を要する生徒は増えている。個性に応じた支援を考え、組織的に対応をしていく必要がある。</p> <p>身近に地震が発生したが、対応に手間取った。いろいろな災害場所を想定し、それぞれの場面で必要な対策を考える必要がある。</p> <p>予鈴での移動を目標にしてきたが、年々困難となっている。自分の担当場所へ行き、掃除で綺麗になる充実感を味あわせることが必要ではないか、と考える。</p>

**学年部**

1 学 年	
重点目標	<p>基本的な生活習慣を身に付け、けじめのある高校生活をする。</p> <p>学習環境を整え、学力の向上に努める。</p> <p>進路について意識を高める。</p>
昨年度の課題 (設定の理由)	<p>下記記載の文は、昨年度（平成30年度1学年の課題です）</p> <p>授業への取り組みや与えられた課題の提出状況はよく、何とかやり遂げようと努力した。</p> <p>挨拶・学年集会の集合・清掃など良好で、楽しそうに学校生活を送れている。</p> <p>欠席や遅刻も少なく、身だしなみも概ねよく落ち着いている。</p> <p>学年間でとても連携をとりやすく、生徒に寄り添いながら指導や相談ができた。</p> <p>基礎学力が身につけていない為、応用力がないと強く感じる。</p> <p>机や床に前時間の教材を置いている生徒がいる。</p> <p>身の回りの整理が下手である。</p>

2 学 年	
重点目標	<p>基本的な生活習慣を身に付け、けじめのある高校生活をする。</p> <p>授業や提出物等を大切に、学力の向上に努める。</p> <p>中堅学年としての自覚を持ち、学校行事等に積極的に取り組む。</p>
昨年度の課題 (設定の理由)	<p>落ち着いた学校生活を過ごせるように、社会生活に必要な身だしなみや挨拶等を養わせたい。</p> <p>日々の授業を真摯な態度で受ける習慣をつけ、学力向上を促したい。宿題や課題を通して、定期考査や各種検定等、目標に応じた学習をさせたい。</p> <p>日頃から服装・授業態度・放課後の時間の使い方、自宅学習について、生徒自身で考えて行動できるようにさせたい。その際、保護者の協力をいただきながら取り組んでいきたい。</p>

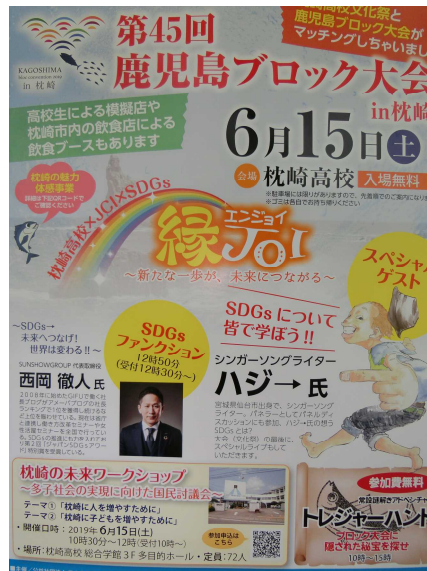
3 学 年	
重 点 目 標	<p>基本的な生活習慣を定着させ、けじめのある高校生活を送る。</p> <p>授業を大切にし、生徒各自の進路目標を達成する。</p> <p>最高額年としての自覚を持ち、学校を中心となって学校行事に取り組む。</p>
昨年度の課題 (設定の理由)	<p>進学・就職試験に向けて意識を高め、基本的な生活習慣の大切さを理解させ、身に付けさせたい。社会生活に必要な身だしなみや挨拶等の大切さを認識させ、各提出物や許可なども含めて、手続きを行うために自己管理する力を養わせていきたい。</p> <p>日々の授業を真摯な態度で受ける習慣をつけさせたい。また、定期考査や各種検定等目標に応じた学習を自ら行う意欲を持たせたい。</p> <p>各行事において、熱心に取り組むだけでなく、ルール内で工夫することを意識させ、最高学年として全体を率いることのできる集団にしたい。</p>

## 生徒会係より — 文化祭準備の進捗状況とお知らせ

- ・本年の文化祭のテーマは『Just Smile ～笑顔の花をさかせよう～』となりました。
- ・開催日は明日14日(金)～15日(土)と2日に伸ばし、枕崎高校の次世代を担う小・中学生にも来場いただけるような日程としました。



- ・また、本年は日本青年会議所・九州ブロック鹿児島大会との合同企画となりました。



- ・青年会議所主催のパネルディスカッションや校内全域を使用して繰り広げられる「トレジャーハントゲーム」、さらにはティーンエイジャーに人気のシンガーソングライター‘ハジ’氏によるライブ演奏は、本年の文化祭の目玉企画となるはずです。

- ・本校の生徒たちも負けていません。1年生は、教室を使用して、日頃の授業で学んだ学習のパネル展示やバルーンで飾りたてて‘ファンタジー’の世界を具現化。2年生は、たこ焼きやワッフルなどのバザーを。そして3年生はダンスやお笑いなどをステージで発表。今、全校を挙げて懸命に準備に執り組んでいます。



- ・この他、市内の業者約10件、同窓会1件、PTA1件など、前代未聞の多数の出店が出店予定。まさに‘お祭り’となるはずです。



- ・ポスターを枕崎市内は勿論、南さつま市や川辺町、吹上町などへもコンビニを中心に配布し、さっそく掲示していただきました。
- ・先日は青年会議所のご協力のもと、KKBやKYTの放送局でもイベント情報として放映していただきました。
- ・この文化祭を通し、広く地域に枕崎高校のことを知っていただきたいだけでなく、「私たち(僕たち)に

だって、やればできるんだ！」と、生徒たちには自信を持って欲しいですし、これからも強く生きていって欲しい、と強く願っています。



# 平成30年度 第3回学校関係者評価委員会 兼 信頼される学校づくりのための委員会 ま と め

1 日 時 : 平成31年2月14日(木) 15:30~16:30

2 会 場 : 本校総合学館 2階C24教室

3 参加者 : 評価委員, 校長, 教頭, 事務長, 4部主任, 学年主任, 学校評価係

4 会 順 : 15:30~ 開会のことば・学校長あいさつ  
15:32~ 第2回学校関係者評価委員会報告  
15:34~ 最終アンケート集計結果報告(生徒用, 保護者用, 評価委員用, 職員用)  
15:38~ 最終評価と反省, 授業評価  
教務 生徒指導 進路 保健 1年 2年 3年の各主任から口頭にて説明。  
16:00~ 質疑応答・意見交換  
16:30~ 閉会のことば

5 質疑・意見交換の主な内容(まとめ)

## 3年次進路未決定者について

Q1 : 進路が決まっていない生徒が現在いるのか。また, 今後どのように指導していくのか。

学校の紹介に依らず自分で就職先を探す, との理由から進路が決まっていない生徒がいる。  
3年生は2月から自宅学習期間となり学校へは登校していないが, 生徒の希望になるべく沿えよう, 今後も担任や進路指導部を中心にサポートしてゆく。

## 職員用の最終アンケートについて

Q2 : 職員アンケートの自由意見欄の中に厳しいコメントがあるが, 何か対処をしているのか? また今後どのように指導していくのか。

職員数が年々減少をしていく中, 校務を平等に分配できなくなっており, ひとりあたりの職員の仕事量が増加の傾向にある。したがって, この様な意見が出るのもやむを得ない。従来通りのやり方で校務をこなしていくことは難しいと思われるため, 様々な意見を取り入れながら, 今後検討していく。

Q3 : 基本的な生活習慣が身についているという生徒が, 学年を経るごとに少なくなっている。逆に学年を経るごとに良くなっているという結果が見たいが, 学校として考えるべきでは。

年度ごとに生徒が異なるので, 基本的な生活習慣が身についていた生徒が学年進行で悪くなるわけではない。

Q4 : 生徒は、授業に一生懸命取り組んでいるという評価が低くなっている。

あいさつ、服装を正すなどの指導を授業の始めに行っている。学年を追うごとに評価が下が  
るのではなく、各学年本来の状況が少しずつ改善されてきた中での評価である。

#### 学習発表会について

Q5 : 市内の中学生に、とてもいいアピールになっていた。生徒募集につながると思う。文化  
祭や体育祭も中学生が来られるようにして欲しい。-ル生徒は、授業に一生懸命取り組んで  
いるという評価が低くなっている。

今年は初めて中学生を招いての発表会となった。先輩たちが立派に発表する姿を見られ  
て、大変良かったのではないか。

来年度の文化祭は、6月の第3土曜日を予定しており、小中学生も見学ができるような日程  
を予定している。

また来年度は枕崎市で全国青年会議所ブロック大会が開催予定。枕崎青年会議所とのコラボ  
レーションについて、現在企画を考えているところだ。

#### その他

Q6 : 3年生は2月から自宅学習期間に入ったが、報道によるとこの時期に自動車免許を取得し  
たばかりの生徒が交通事故を起したり、飲酒で警察に捕まったりしているようだ。くれぐれ  
も卒業間近の本校生徒が、事故や事件などに巻き込まれることがないように、気を引き締めて  
生活するように生徒に伝えて欲しい。

指導してゆく。

Q7 : 就職した先輩たちが、'面接だけで内定をもらえるから勉強しなくても大丈夫'だと言っ  
ているようだが、就職してからも勉強は必要だ、と伝えてほしい。

出校日等を利用して、そのように指導していく。

## 令和元年度 学校評価アンケート集計結果（保護者用 / 年度初め）

本アンケートは2年生と3年生の保護者を対象に実施しました。

【評価基準】 4:そう思う 3:おおむねそう思う 2:あまりそう思わない 1:そう思わない

		質 問 事 項	4	3	2	1
共通 項目	1	本校は、生徒一人ひとりの個性・能力・進路に応じた指導を実現している。	12.9	77.1	10.0	0.0
	2	本校は、他人を思いやること出来るような人間性豊かな生徒を育成している。	8.6	75.7	15.7	0.0
	3	本校の総合学科は、進路についてじっくりと考える機会があり、進学にも就職にも柔軟に対応できる学科である。	17.1	64.3	18.6	0.0
	4	本校は、部活動指導に積極的で、生徒が活動しやすい環境になっている。	15.7	45.7	28.6	10.0
	5	子どもは、授業や学習に一生懸命に取り組んでいる。	10.0	62.9	24.3	2.9
	6	子供は、生徒会活動や部活動に一生懸命取り組んでいる。	17.1	60.0	17.1	5.7
	7	本校の教職員は、生徒の進路実現のために一生懸命取り組んでいる。	18.6	65.7	14.3	1.4
	8	本校の教職員は、生徒の服装や遅刻等について、厳しく指導している。	21.4	62.9	12.9	2.9
	9	本校の時間割は、生徒の多様な進路実現に対応できている。	15.7	65.7	18.6	0.0
	10	本校は、進路情報の提供や進路相談に熱心である。	19.1	67.6	11.8	1.5
	11	本校では、対外模試は学力向上や進路指導などに、よく活用されている。	17.1	61.4	21.4	0.0
	12	本校は、開かれた学校づくりに努力している。	17.1	67.1	11.4	4.3
	13	本校は、急病への対応や危険な場所の把握・管理が行き届いている。	17.1	62.9	20.0	0.0
	14	本校は、きれいで清潔な生活環境になっている。	22.9	65.7	11.4	0.0
	15	子どもは、服装や挨拶などの基本的な生活習慣ができています。	18.6	62.9	18.6	0.0
	16	子どもは、登下校時に交通安全を意識し、行動している。	21.4	70.0	8.6	0.0
	17	子どもは、自宅で2時間以上学習している。	5.7	25.7	55.7	12.9
	18	子どもは、インフルエンザやストレスなど心身の健康について知識を深め、対処法を実践するようになった。	8.6	58.6	31.4	1.4
	19	子どもは、地域の行事に積極的に参加している。	7.1	48.6	38.6	5.7
	20	子どもは、本校からの連絡や配布物を、確実に家庭に届けている。	30.0	41.4	22.9	5.7

上記数字は、全てパーセント（%）での表示です。

回収率・・・3年生 67% 2年生 70% 2・3年生全体の回収率 = 68%

### 【保護者のご意見】

#### (3年生)

- ・ 野球部、道の使い方が悪い。女子の挨拶ダメ！！態度が悪い。
- ・ 生徒数減少対策を、PTAや同窓会等と早めの対策を考えてはどうか。
- ・ アルバイト 社会勉強の場であり、推奨して欲しい。それを学校の特徴としてほしい。
- ・ このアンケートは必要でしょうか。

#### (2年生)

- ・ 子どもの自立、自主性を考えてのことなのか、保護者への情報が少なすぎる。ホームページも先のこと知りたい（行事とか）のに、過去のことしか載っていない。

[目次へ](#)

## 学校評価の年間計画（案）

	職 員	生徒・保護者	学校関係者評価委員
評価の 内 容	・校務分掌評価 ・学年評価 ・自己評価（授業評価）	・学校評価アンケート （生徒：授業評価も含む）	・外部評価
担 当	学校評価係	学校評価係	教 頭
月	業 務 内 容		
4	学校の教育目標・教育方針 の決定	アンケート内容の検討 保護者用中間アンケート 配布	学校関係者評価委員の選定 依頼
5	各部・学年等の重点目標 設定	PTA総会における学校評価の説明 保護者向け中間アンケート回収・集計	
6	アンケート内容の検討		第1回学校関係者評価委員会 （目標確認）
7	各部・学年・授業の中間評価	授業の中間評価アンケート	
8	自己評価（中間評価）		
9	評価内容の検討		
10			アンケート内容の検討
11	学校評価 実施・集計 授業評価実施	授業の最終評価アンケート	第2回学校関係者評価委員会 （中間評価）
12	各部・学年授業の最終評価	学校評価アンケート 保護者向け実施・集計	学校評価アンケート
1	自己評価（最終評価）	学校評価アンケート 生徒向け実施・集計	
2	結果報告と改善策の検討	アンケート結果と分析	第3回学校関係者評価委員会 （最終評価）
3	学校評価に関する 県への報告	次年度アンケート内容の検討	



